円山応挙 重要文化財《郭子儀図》(部分)
天明8年(1788) 兵庫・大乗寺蔵 通期展示

京都国立近代美術館 岡崎公園内

The National Museum of Modern Art, Kyoto

NOVEMBER 2 – DECEMBER 15, 2019

2019 11/2㊏–12/15㊐

前期後期で大展示替え!

前期 11/2㊏－11/24㊐　後期 11/26㊋－12/15㊐

開館時間:午前9時30分－午後5時 ※金・土曜日は午後8時まで(入館は閉館の30分前まで)
休館日:毎週月曜日、11月5日(火) ●ただし11月4日(月・休)は開館
主催:京都国立近代美術館、朝日新聞社、京都新聞、NHK京都放送局
協賛:岡村印刷工業、JR西日本
お問い合わせ:〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話:075-761-4111
展覧会公式サイト https://okyokindai2019.exhibit.jp/

百花繚乱!
円山・四条派の世界

円山応挙から近代京都画壇へ

大乗寺襖絵 約24年ぶりの京都で公開!!

LEGENDARY KYOTO PAINTING FROM MARUYAMA OKYO TO THE MODERN ERA

すべては応挙にはじまる。

応挙の代表作「郭子儀図」に加え、最晩年の傑作「松に孔雀図」を含んだ大乗寺障壁画を立体的に展示。さらに、円山・四条派の主要画家の作品を紹介。

円山応挙
重要文化財
《松に孔雀図》
(全16面のうち4面)
寛政7年(1795)
兵庫・大乗寺蔵
通期展示

観覧料(税込)

	一般 Adults	大学生 College	高校生 High School Students
当日	1500円	1100円	600円
前売・団体(20名以上)	1300円	900円	400円

●中学生以下、心身に障がいがある方とその付添者1名は無料(要証明)
●本料金でコレクション展もご覧いただけます。
●前売券販売期間:2019年9月2日(月)～11月1日(金)

特別チケット

早割ペア券 2400円(税込)

本展は前期・後期で大幅な展示替えを行います。お二人でご覧いただくことはもちろん、お一人で2回お楽しみいただくことも可能です。

販売期間:8月1日(木)～8月31日(土)

グッズセット券 2000円(税込)

円山応挙「郭子儀図」に登場する、芭蕉の葉に乗る唐子が刺繍されたガーゼハンカチ(限定カラー)がセットになった前売券です。

●グッズは本展特設ショップで引き換えます。
●ガーゼハンカチ(色違い)は本展会期中、本展特設ショップでもお求めいただけます。

販売期間:9月2日(月)～11月1日(金)

画像はイメージです

プレミアムナイトイベント券 3000円(税込)

「秋の夜長は応挙に酔う」

円山応挙や弟子たちの襖絵などを受け継ぐ大乗寺の副住職、山岨眞應氏。本展図録撮影のため、新緑の大乗寺を訪れた写真家の三好和義氏。守り人、撮る人が見いだした応挙の美を語ります。

セット内容:本展観覧券、イベントへの参加、大乗寺の地元・香住の銘酒のお土産

●観覧券は当日ご覧になれない場合、別の観覧日にご利用いただけます。
●会場ではお土産の銘酒はお召し上がりいただけません。

日時:11月29日(金)午後6時30分～
出演:山岨眞應氏(大乗寺副住職)&三好和義氏(写真家)
司会:平井啓修(京都国立近代美術館研究員)
場所:京都国立近代美術館1階講堂
販売期間:9月2日(月)～11月1日(金) ※定員に達し次第終了

販売場所:公式サイトのみ 限定80名

チケット取り扱い:オンラインチケット(公式サイト)、チケットぴあ(Pコード:769-819)、ローソンチケット(Lコード:52348)、セブンチケット、イープラスほか主要プレイガイドなど(チケットの購入時に手数料がかかる場合があります)

音声ガイド 料金:550円(税込)

声優のほか、ライブ活動など多彩に活躍する羽多野渉さん。優しく心地よい語り口で、作品のみどころを余すところなくご案内します。

ナビゲーター 羽多野渉

In 18th-century Kyoto, Maruyama Ōkyo carved out a new genre of realistic painting based on sketching from life. Maruyama's minutely depicted works enjoyed tremendous popularity, leading to the formation of the Maruyama school. Meanwhile, Goshun, who had studied both with Yosa Buson and Maruyama after the former's death, founded the Shijo school by infusing Maruyama's realism with Buson's elegant charm. Maruyama and Goshun in turn inspired the Maruyama-Shijo school, which produced a succession of artists including Shiokawa Bunrin, Mori Kansai, and Kōno Bairei followed by leading figures in the modern Kyoto art world such as Takeuchi Seihō, Yamamoto Shunkyo, and Uemura Shōen. In this exhibition, we trace this artistic lineage, which stretches from Maruyama and Goshun to the modern era, while presenting a full picture of the Maruyama-Shijo school and providing insight into various aspects of the Kyoto art world.

日本博 beyond 2020 関西から文化力 POWER OF CULTURE 140 朝日新聞 創刊140年 京都新聞

山、川、滝。自然を写す。

円山・四条派の醍醐味は何と言っても風景表現にある。保津川、嵐山、近江八景など名所の数々を「写生」したその画風は、いち早く近代を予見させた。

上：円山応挙 重要文化財《保津川図》寛政7年（1795）株式会社千總蔵 後期展示

下：菊池芳文《小雨ふる吉野》大正3年（1914）東京国立近代美術館蔵 前期展示

近世から近代へ 画家たちの系譜をたどる 円山・四条派の大展覧会

18世紀、様々な流派が百花繚乱のごとく咲き乱れる京都で、円山応挙は写生画で一世を風靡し円山派を確立しました。また、与謝蕪村に学び応挙にも師事した呉春によって四条派が興り、写生画に瀟洒（しょうしゃ）な情趣を加味して新たな一派が誕生します。この二派は円山・四条派としてその後の京都の主流となり、近代にいたるまで京都画壇に大きな影響を及ぼしました。本展は、応挙、呉春を起点として、長沢芦雪、渡辺南岳、岸駒、岸竹堂、幸野楳嶺、塩川文麟、竹内栖鳳、山元春挙、上村松園ら近世から近代へと引き継がれた画家たちの系譜を、一挙にたどります。また、自然、人物、動物といったテーマを設定することによって、その表現の特徴を丁寧に追います。日本美術史のなかで重要な位置を占める円山・四条派の系譜が、いかに近代日本画へと継承されたのか。これまでにない最大規模でその全貌に迫る、圧巻の展覧会です。

円山応挙 重要文化財《写生図巻（甲巻）》（部分）明和8－安永元年（1771～72）株式会社千總蔵 後期展示

円山応挙 重要文化財《写生図巻（乙巻）》（部分）明和7－安永元年（1770～72）株式会社千總蔵 前期展示

前期後期で**大**展示替え！

円山応挙から近代京都画壇へ

前期 11/2㊏ －11/24㊐

後期 11/26㊋ －12/15㊐

重要文化財の襖絵群を展覧会の全期間にわたり再現展示！

襖絵はいずれも兵庫・大乗寺蔵

山水の間 円山応挙「山水図」天明7年（1787）

仏間 円山応瑞「蓮池図」

芭蕉の間 円山応挙「郭子儀図」天明8年（1788）

孔雀の間 円山応挙「松に孔雀図」寛政7年（1795）

美人、仙人。物語を紡ぐ。

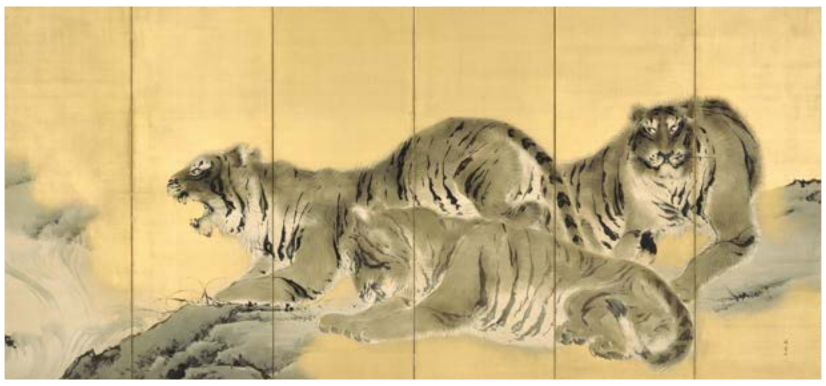
円山・四条派の描く人物たちは穏やかで品格がある。意外に知られていないが、応挙は上村松園が大成した近代美人画の源流すら生み出していた。

右：上村松園《娘深雪》大正3年（1914）足立美術館蔵 前期展示

左：呉春《山中採薬図》公益財団法人阪急文化財団 逸翁美術館蔵 後期展示

孔雀、虎、犬。命を描く。

動物たちをリアルに描いて18世紀の京都に革命をもたらした応挙。門下では虎の岸派、猿の森派などが活躍し、近代では竹内栖鳳らがその伝統を引き継いだ。



岸竹堂《猛虎図》（右隻）明治23年（1890）株式会社千總蔵 後期展示

円山応挙 重要文化財《牡丹孔雀図》明和8年（1771）京都・相国寺蔵 後期展示

長沢芦雪《薔薇蝶狗子図》寛政後期（1794～99）頃 愛知県美術館蔵（木村定三コレクション）後期展示

関連イベント

記念講演会「空（くう）を描く」

日時：11月30日（土）午後2時～午後3時30分

講師：山岨眞應氏（大乗寺副住職）

講演会「近代京都画壇 －美術と産業－」

日時：11月2日（土）午後2時～午後3時30分

講師：並木誠士氏（京都工芸繊維大学教授、同美術工芸資料館館長）

場所：京都国立近代美術館1階講堂

定員：先着100名、当日午前11時より1階受付にて整理券（ひとり1枚）を配布します。

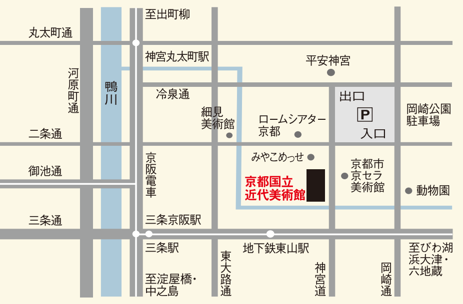
●聴講無料（要本展観覧券）

担当学芸員による解説

日時：11月15日（金）、12月6日（金）各日午後6時～

講師：平井啓修（京都国立近代美術館研究員）

詳細は展覧会公式サイトをご覧ください。



京都国立近代美術館（岡崎公園内）

THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KYOTO

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町

電話：075-761-4111

ホームページ：http://www.momak.go.jp/

交通案内

JR・近鉄～バスをご利用の方

- JR・近鉄京都駅前（A1のりば）から市バス5番　銀閣寺・岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
- JR・近鉄京都駅前（D1のりば）から市バス100番（急行）清水寺・銀閣寺行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ

阪急電鉄・京阪電鉄～バスをご利用の方

- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番 銀閣寺・岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪祇園四条駅から市バス46番 祇園・平安神宮行「岡崎公園　美術館・平安神宮前」下車すぐ

市バス他系統ご利用の方

- 「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分
- 「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分

地下鉄ご利用の方

- 地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分

お車でお越しになる方

当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車場施設のご利用をお願いいたします。岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引（1台につき1回）を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。